

1. グリフィン横浜・桜木町既設シーリング材の現場調査及び劣化診断試験を浦和研究所にて行いましたので、その結果をご報告申し上げます。

(1) 現 場 名 グリフィン横浜・桜木町

(2) 現 場 住 所 神奈川県横浜市中区花咲町 1 丁目 8-1

2. 劣化診断試験

(1) 材種判定および外観検査結果

既設シーリング材切り取りサンプルの材種判定および外観検査を行った結果を表-1 に示す。なお、材種の判定は赤外吸収スペクトル分析によって行った。

(2) 物性試験

J I S K 6 2 5 1 「加硫ゴムの引張試験方法」に準じて行った。

1) 採取したシーリング材をカッターの刃を用い、厚さ 2 ～ 3 m m のシート状にスライスし、これを J I S K 6 2 5 1 に基づく 3 号ダンベル型で打ち抜き、試験体とした。なお、厚さ 2 ～ 3 m m のものはそのまま試験体とした。(別途工程写真参照)

2) 試験方法

試験体を以下の条件で引張試験に供した。

試験温度 ; 2 3 ℃、引張速度 ; 2 0 0 m m / m i n

3) 試験結果

引張試験の結果および当建物既設シーリング材の劣化度の診断結果を表-2 に示す。

3. 総合評価

既設シーリング材の劣化診断試験総合評価を表-3 に示す。

4. 考 察

表中の「劣化度」の基準は、官庁建物に於けるシーリング材の改修工事設計指針書である「建設大臣官房技術調査室・監修 ; 建築防水の耐久性向上技術、技報堂出版、1 9 8 7」に拠り行いました。なお、同書抜粋を別紙に示します。

◆ 診断結果 ◆

既存シーリング材：ポリサルファイド系シーリング材

外観：採取したシーリング材は以下のような外観上の劣化が認められました。

露出目地：汚れ、ひび割れ、軟化

物性：採取したシーリング材は軟化が著しく測定できませんでした。

総合評価：外観は汚れ・ひび割れ等が認められ、経年劣化と思われる劣化の進行が認められます。

物性は、すべての供試体において、軟化が著しい為測定できませでした。

以上より総合判定は**補修が必要な「劣化度Ⅲ」**判定されます。

5. 改修方法

「露出目地」

改修を行う場合は既存シーリング材を撤去し、新たに耐候性に優れた2成分形変成シリコン系シーリング材「**ボンドMSシール**」(シールプライマー#9)又は、2成分形ポリサルファイド系シーリング材「**ボンドPSシール**」(シールプライマー#9)を充填して下さい。

以上